

千代田町 学校教育施設の整備に関する説明会 質疑応答記録

開催日時：2025年6月28日（土）14時～16時

場所：コスメ・ニスト千代田町プラザ

Q1：小中一貫校建設における町の財政状況は問題ないか？

A1：教育長

中学校の建設には補助金が出ませんが、小学校の統合には国から補助金が出るため、これを活用したいと考えています。

A1：町長

町は学校建設のためのお金を積み立てており、財政面での準備を進めています。都市計画道路の整備も同時に進めています。開校目標は令和10年4月ですが、これよりも早まる可能性も遅れる可能性もあります。

Q2：町長が掲げる橋の建設などの施策により住民が増加した場合、学校の収容人数は対応可能か？

A2：教育長

児童生徒の増加も想定しており、小学校・中学校ともに必要数に加えて数クラスを設置する予定です。

Q3：小中一貫校建設の時間軸が不明確。令和10年4月開校を目指すのであれば、具体的な日程計画を示すべきではないか。数十年活用する建物であり、容易に建て替えられないため、様々な関係者の意見を聞き、それを含めた計画を示すことで良い学校ができると思う。

A3：教育長

今回はコンセプトを中心に説明しましたが、次回の説明会では、より詳細な内容をお話できるよう準備を進めています。次回は秋頃を予定しており、具体的な校舎の外観情報や内部の設計について、さらに具体化してお伝えしたいと考えています。

Q4：東小学校近隣住民より。今回の計画は、東小学校がなくなることを前提としているのか。ホームページには既に計画が示されているが、地元住民への説明は十分に行われているのか心配。千代田町は人口減少を前提としているが、もっと人口増加に努力してほしい。明和町の駅周辺整備のような取り組みを千代田町も行うべきではないか。「人口が減るから小学校をなくす」という考え方は違うと思う。新校舎の建設場所を教えてください。

A4：教育長

学校ありきというよりも、周知徹底が不足していた点は申し訳ありません。当初は3校建て替えの案もありましたが、その場合は補助金がかからず、今回のような新設の場合とでは

金額にかなりの差がありました。今後人口が爆発的に増加することは難しいという現状も考慮し、総合的に判断しています。東小学校の保護者からはアットホームな雰囲気が良いという意見がある一方で、児童数減少に伴う教育的な課題も認識していました。卒業生や地元の方々の学校がなくなることへの寂しさは重々承知しておりますが、総合的な判断の結果です。今回の工事はこれまでの工事と比べても大変大規模なものとなります。地域の方にも参加いただけるよう検討しています。

Q5: 千代田町はふるさと納税で「儲かっている」と聞いたが、その金額はかなりのものか？

A5: 町長

ふるさと納税は「儲かっている」というよりは、県内で一番の納税額であるものの、様々な経費を差し引くと実際には3割程度の収入となります。この5、6年前から学校建設のための費用を積み立てています。昨年8月頃に学校の在り方検討委員会を開催し、アンケートを取った結果、小中一貫校が良いという答申を得ました。千代田町は県内で4番目に面積が狭いですが、人口減少を食い止めるため、給食費の無料化や教育費への大きな投資を行っています。

A5: 教育長

ふるさと納税に感謝しつつ、町長に要望すると、子供たちのためにと多くの資金を教育に回していただいています。この点では他市町村からも羨ましがられています。

A5: 副町長

私自身も東小学校の卒業生であり、学校がなくなるのは寂しいですが、例えばクラスに男子生徒が1人になってから統合するのでは遅いと考えています。詳細は検討中ですが、ふるさと納税を含めた現在の町の財政の健全な状況が、学校建設を進める良い機会であると考えています。

Q6: 中学校の建て替えで立ち退き対象となるが、来場者には新しい学校の敷地がどこまでになるか地図で説明すべきではないか。立ち退き対象者は分かるが、他の方は分からないと思う。

A6: 教育長

基本計画ができましたら、皆様にお示ししたいと考えております。

A6: 町長

町の中心が現在の千代田中学校であり、その周辺に3校を建設するのが良いと考えています。おそらく3階建てくらいになると思いますが、これも基本計画が決定しないと分かりません。設計には基本設計、実施設計、詳細設計の3段階があり、これらができ次第、様々な情報を示していきたいと考えています。

Q7-1: 合併の是非はともかく、この段階で建設していただけることは、幼い子供を持つ親

としてはありがたい。合併により、中学校入学時の友達が増えるメリットがなくなるというデメリットもあるため、他の学校との交流を含めた取り組みを実現してほしい。橋や学校建設もありがたいが、スーパーや企業の誘致により税収アップも図ってほしい。校舎の建て替えについて、校舎だけでなく体育館、プール、グラウンドも含むのか。ラーニングコモンズがやや抽象的だったが、そのスペースに新しさやメリットがあるのか。

A7-1: 教育長

人脈形成についてですが、この町の規模では、出会いの機会が少ない現状があります。現在は小学校 5 年生の林間学校などで交流に取り組んでいますが、子供たちの世界が本当に広がるのは高校だと考えています。部活動も地域移行の問題があるため、1 校で難しい場合は 2 校合同など、交流の場を広げていきたいです。英語で世界と繋がる話も出ましたが、業者を入れると費用が莫大になるため、現在検討中です。子供たちの活躍の場を広げる取り組みを予定しています。

中学校の武道館と体育館は残します。プールについては、残念ながら 50m プールの維持管理が難しいため、中学生もバスで温水プールに行き学ばせようと考えています。西小学校、東小学校の今後の活用については、これから町民の皆様のご意見を聞きながら進めていきたいです。新しい校舎にも体育館ができる予定なので、町民体育館を含め、3 つの施設で運用する予定です。3on3 ができるコートなど、子供たちが学校で楽しくなるようなアイデアもこれから取り入れたいという願望があります。

ラーニングコモンズに関しては、非常に広い空間で、本が置いてあったり、インターネットが利用できたりする場所を想定しています。

Q7-2: 場所のイメージはできたが、使い方が大切。有効に機能するようにしてほしい。部活動が減らないようにしてほしい。

A7-2: 町長

ラーニングコモンズは、児童生徒と町民の皆様との交流の場所と考えていただければ良いでしょう。東西小学校のプールは使用していないため、解体する予定です。

Q8: 小学 1 年生の保護者より。令和 10 年開校は比較的すぐであり、送迎場所など生徒や保護者に影響がある情報はなるべく早く伝えてほしい。レジュメ 3 枚目の特別なカリキュラムについて、具体的にどのようなものか教えてほしい。また、学校づくりのコンセプト「つなぐ」②の「学校と地域をつなぐ」において、放課後教室を英語教室にするなど、英語が多用されているが、子供が本当に必要としているのか、大人が子供には英語が必要だと決めつけていないか、子供のニーズを取り入れてほしい。

A8: 教育長

3 つの教育課程を考えています。

1 つ目は英語教育です。「世界と繋ぐ」時間を設け、特区制度を活用して通常の教育課程

から発展させたいと考えています。

2 つ目は総合学習です。コミュニティスクールという制度を活用しながら、学習を一本化したいと考えています。

3 つ目は特別活動です。中学校が行事を企画できるのであれば、そこに町の行事を取り入れていきたいと考えています。

放課後の取り組みニーズについては、中学校の部活動の移動放課後アンケートを取っています。全てを取り入れることは難しいですが、放課後の午後5時まで地域の方々の協力を得て何か学べる場を提供できれば良いと考えています。現在、放課後子供教室、放課後英語教室、千代田町音楽教室があります。これら以外の子供向けの教室についても、子供たちの意見を聞きながら設定していきたいと考えています。

Q9: 子供たちからはどのような意見が出ているのか、資料はあるか？

A9: 教育長

子供たちからは様々な希望が出てきています。中には射的のような意見もありますが、全てを実現することは難しいと考えています。

Q10: それは、小学1年生や2年生ではなく、ある程度大きくなった子供たちを対象に実施するのか？

A10: 教育長

内容によっては、小学校低学年から中学校まで可能なものもありますが、様々に棲み分けしながら進めていきたいと考えています。アンケートを取って進めていく予定です。

Q11: 子供が中学校に上がる際に工事期間となるが、その時の生徒はどうやって学ぶのか。また、現在の都市計画道路は交通的に危険な箇所があり、そこを通学することを考えると心配。大泉町では多くの人が見守りに立っているが、千代田町では見られない。対策をお願いしたい。千代田町は12年間つなぐとしているが、年齢差によるデメリット（中学生が小学生に早熟なことを言ったりする事案など）はないのか。

A11: 教育長

工事に関しては、建設業者と十分に打ち合わせを行い、安全に最大限注意して進めていきたいと考えています。通学路は全て見直しが必要であり、その際、最も状況を把握している保護者の方々（PTA など）にご相談しながら検討を進めていきたいです。見守りについて、大泉町ではジャケットを着た方々が様々な場所で見守ってくださっていますが、千代田町では現在行っていません。下校時の見守りを促す放送も現在は行っていません。下校時の通学路を見ていただくと分かりますが、子供がほとんど歩いていない現状もあります。これを理由にはできませんが、今後検討していきたいと考えています。交流に関しては不安もあると思いますが、適切な生徒指導を行っていきます。基本的には小中の場所は分か

れているため、その点は少し緩和されるかもしれません。開校前に生徒指導を含め、3校で連携して取り組んでいきたいと考えています。その際にも不安に思っている町民がいることを踏まえて取り組んでいきます。

Q12-1: 8区の方より。少子化は今後も進むので、40年前の年金予測が的中したように、今後30年もその通りになるだろう。今対策を取ったとしても、今の子供が少ないので、子供が増えるはずがない。今回の統合はやむを得ないと思うが、今後も子供の人数が減ると思いながら進めるのか。ラーニングコモンズの意味が分からないので教えてほしい。プレゼンテーションや英語教育なども難しいので、専門家の意見を聞きながら進めてほしい。開校が令和10年4月と急がれているようだが、通学など様々なことがあるので、保護者などとよく相談して進めてほしい。東小学校のあたりでは、郵便局近くに車で停車して見守っている保護者がいる。こうした点も含めて今後も取り組んでほしい。英語も私にとっては何の役にも立っていないので、ただ点数を取るだけの英語にならないよう、話せる英語にしてほしい。

A12-1: 教育長

子供たちの減少はご指摘の通り、希望に反して減ってきているのが現状です。

ラーニングコモンズは確かに抽象的で申し訳ありませんが、だだっ広い空間をイメージしており、それぞれが様々なことができる場所です。ディスカッションなども行っていく予定です。県の教育方針も「させる授業」から「する授業」への転換が言われており、子供の自主性や考える力を育てるための教育活動を目指しています。英会話も同様ですが、英語の先生に聞くと、普段英語を使う機会がほとんどないという答えが返ってきます。その点でAIなども取り入れながら、専門家の意見も聞きながら進めていきたいと考えています。

Q13: 学校の統合には賛成している。開校時期が令和10年4月とのことだが、「少々遅れている」という教育長の話があった。今日の時点で、4月に開校できる可能性は何パーセントか？

A13: 教育長

あくまでも目指しているとはしか言えませんが、様々な偶発的なこともあり、現在少し遅れていることも考慮すると、最悪1年遅れてしまう可能性もあります。ただし、スタッフも懸命に頑張っています。

A13: 町長

この計画は6年ほど前から検討しており、令和10年4月開校を目指しています。今回は補助金を使用していますが、もし国内で災害が発生すると、そちらに補助金が回ることがあります。パーセンテージを数字で表すのは難しいですが、伸びても1年くらいかなと考えています。国の制度や文部科学省の政策、様々な意見を組み入れて進めていきたいという

側面もあります。

Q14: 新しい校舎は木材中心とあるが、将来的なメンテナンスは大丈夫か。プールは一切残さないのか。

A14: 教育長

基本的に校舎は木造ではなく、鉄筋を使用して長く持つものとしたと考えています。ただし、木材は心が安らぐ部分もありますので、内部（壁、床、扉）に木を使いたいと考えています。構造は強いものにし、直接触れたり見たりする部分に木造を取り入れたいと思っています。プールは解体する方向で考えています。老朽化や維持費、町内温水プールの有効活用を検討していきたいです。小学生も現在温水プールに通っています。

A14: 町長

私が小学校2年生の時に千代田中学校のプールを建設しました。群馬県内で2番目の50mプールであり、自慢のプールでした。水泳大会も開催されていました。今後はバスで温水プールを利用することになります。

Q15: 良い面は進め、懸念があったら慎重に進めてほしい。人口減少社会では居住者を増加させることが重要だが、若い世代が何を考えているのか徹底的に掘り下げてほしい。5番目の説明にあるラーニングコモンズは素晴らしいと思う。これは社会教育の充実にも繋がるのではないか。知的環境空間を作り、知的好奇心を拡充させる場所を学校の中に作ってほしい。

A15: 町長

ラーニングコモンズは学びを深めるとともに、町民の皆様との絆を深める場所でもあります。災害時の避難所としての活用も視野に入れ、交流を深めることの重要性や、社会に通用する人間形成を大切にしていきたいと考えています。